

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	聖隷こども発達支援センター和合 (聖隷こども発達支援センターかるみあ和合)		公表日	2026年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	1	・記録用紙などは形式が決まっており、必要なことが記入しやすくなっている。 ・見るポイントがあり丸をつけるのはわかりやすい	・兼務職員が多いため職員配置や役割分担について課題がある。 ・現行体制の中でも連携の工夫を重ねながら、より安定した体制づくりを検討する。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	・現状は少ないと思う。多職種支援ができないので、今後は体制を整えていけると良いと思う。 ・兼務の職員の配置が多く、他職種連携は現実的に難しい状況になってしまっている。 ・情報共有は適宜行い、必要な支援に繋げている。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・月一回の会議にて、振り返りがなされている。 ・効率よくできるように、PDCAは意識して取り組んでいる。 ・児発との連携を取り出したので様々な職員と情報共有はしている。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・報告が対面でできない家庭には電話の時間等配慮している。	
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・会議にて、意見を言うことができる。	・評価結果や意見をより分かりやすく共有し、具体的な改善につなげられるよう仕組みを見直していく。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・保育所等訪問支援に特化した研修を開催した。 ・保育所訪問支援担当職員が集まった研修は、お互いの情報交換の場にもなり、よかった。	
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・園で取り組めることを考慮して支援計画を作成している。 ・保護者のニーズや、園での課題を園の先生方と共有し、立案している。 ・カンファレンスにて、計画作成について話し合っている。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・適宜 情報共有を実施している。 ・カンファレンスで十分な検討ができています。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・訪問先の意向は必ず聞くようにしている。 ・情報共有の場で、園の先生方とお子さんの表れやこの先に育ってほしい力を確認し合い、盛り込んでいる。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・フォーマルなツールのアセスメントについては使用していないが、インフォーマルなアセスメントは行っている。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・年度当初に、訪問支援員で共有している。 ・園の担任へのフィードバックは担当者に合わせてわかりやすく説明するように努めている。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・園の担任との話し合いの時に支援計画の目標の部分についても聞き取っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2	・難しいケースや初回ケースでは事前に情報共有している。 ・それぞれが行く園については把握している。	・すべてのケースにおいて、十分な打合せや振り返りの時間を確保するよう努めているが、訪問先の状況によってはできない時もある。 ・支援前後の共有がより確実に行えるよう、方法やタイミングについて工夫が必要。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	・児発との共有・連携はできるだけしている。 ・児の表れについては児発担当と共有しているが毎回ではない。 ・打ち合わせができそうなきときはできるだけ共有している。	
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・先生方の動きなどをその都度、確認したりわからない場合は確認している。 ・なるべく園の雰囲気を読み取るようにしている。		
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・前回の記録を見返して成長したところを把握するようにしている。 ・記録は先生方のお話し、お子さんの姿など、ペンの色をかえて分析しやすいように工夫している。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・ 児発の評価も確認しながらよりよい支援に繋げている。 ・ 評価月に見直ししている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・ 訪問担当者、児発担当者、相談支援事業所担当者等、児発管以外にも現場の担当者も同席して行っている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・ 就学への繋ぎ支援は、情報共有を各連携機関と密に行うことができるようにしている。 ・ 就園についても、保護者同意を頂いた上で共有している。 ・ 学校はわからないが、就園する際に保育所等をつけている場合は情報共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	2	1		・ 今年度法人内で研修を行ったが、外部研修に参加する機会はなかった。 ・ 専門性向上のため、研修には積極的に参加したい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・ 訪問の報告の中やサ担、支援計画面談などを通じて、できてることや難しいこと、次の目標を確認する機会を設けている。 ・ 保護者とは具体的に話をするようにしている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		・ 今年度ペアレントプログラムは実施できていない。 ・ 保護者向け研修や講演会等掲示板等で発信しているが、来所できない保護者もいるため、コドモンを活用した情報発信も検討したい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・ 初回面談時にしっかりと説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・ 児発管がパンフレットを用いて説明をしっかりとっている。 ・ パンフレットをみて頂きながら、ご説明している。 ・ 初回訪問時に説明をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	2	・ 「子どもの最善の利益」について保護者・園と話し合い検討している。	・ 子どもの姿は捉えているつもりだが、意向の汲み取りは課題。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・ できそうな方法を提案したり、他職種で連携機関をとりながら保護者ニーズに応えられるよう工夫している。 ・ 報告時に子育てに対する助言をしたり、保護者の話をよく聞くようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	・ 児発の行事と併せて保護者交流の機会を設けている。	・ きょうだい同士の交流は課題。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・ 保護者ひとりで抱えこみすぎないように、児発担当とも連携をとっている。 ・ 保護者からの申し入れは適宜行っていると思う。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・ 個人情報の取り扱いには気をつけている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・ コドモンを利用して情報伝達は工夫している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・ その日のうちにご返答が難しい場合には一度もちかえり、園のニーズに応えられるようにしている。 ・ その場で答えられないことは確認してから次回訪問時に伝えるようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・ 支援員や担任とカンファレンスの時間を取っている。 ・ 園の事情により、電話でも情報共有をしている。 ・ 訪問先との時間の調整が難しいときもあるが、説明をして行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・ 今できていること、今後の課題のことも伝えていく。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・ ケースファイルの持ち出しには、鍵のかかるケースを使用している。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方と積極的にコミュニケーションをとり、関係作りを大切にしている。 ・挨拶をしたり、担任の動ける時間をきいて関係性を作るようにしている。 	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の訓練はしている。 	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づいて訓練している。 	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・会議で共有している。 	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修で適宜行っている。 	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			